

教科等研究会（小学校生活・総合的な学習部会）

令和 6 年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

豊かな体験と表現に支えられ 学びをつなぎ 学びを深める子どもの育成
～児童一人ひとりが輝く授業づくりを通して～

2 研究経過

第 1 回			第 2 回				第 3 回			第 4 回		
期日	人数	場所	期日	場所	講師	内容	期日	授業者	場所	期日	授業者	場所
六月七日 (金)	二十六名	広安西小学校	八月六日 (火)	御船町立恐竜博物館	富澤 由規子 学芸員	現地研修 御船町立恐竜博物館	十二月五日 (木)	中村 謙介 二年担任 教諭	広安西小学校	一月二十三日 (木)	内田 純鈴 三年担任 教諭	白旗小学校

3 研究の概要

(1) 研究の内容

今年度の当部会のテーマは、上益城郡教科等研究会全体テーマを受けて、「豊かな体験と表現に支えられ 学びをつなぎ 学びを深める子どもの育成～児童一人ひとりが輝く授業づくりを通して～」とした。このテーマは、昨年度から引き続いて取り組んでいる。

昨年度から、再び交流活動や表現活動等も GT や地域の方々と直接話したり見学したりすることができるようになってきた。今年度は夏季研修にて、教師自身が地域素材に触れる現地学習を実施し、児童の豊かな体験へと繋がるようにした。また、昨年度まで ICT を活用した表現方法を理論研修で学んだ。そのため、研究授業の中で思考ツールを活用してまとめたり、学んだことを表現したりする方法の一つとして ICT の活用にも焦点を当てて研究を進めた。

① 研究主題について

○ 「豊かな体験と表現」とは

子どもたちの中に感動や葛藤が生じ、知的好奇心を高め、探究的な学習へつなぐことができる体験、及び、活動の楽しさ・気付きや情報を整理・分析したことを、多様な方法によって伝えたりまとめたりすること

○ 「学びをつなぐ」とは

子どもが「探求的」「横断的・総合的」「協働的」な学習を発展的に繰り返し、気付きの質を高めたり、思考を広げたり深めたりしていくこと

○ 「学びを深める」とは

自分のよさや成長が分かり、学習したことを自分の生活や生き方に生かし、社会の中での自分を見つめ、主体的に行動していこうとすること

② 研究の視点について

研究の視点 1 探究的な学習過程における豊かな体験活動の工夫
研究の視点 2 気付きや考えを整理・分析・表現・交流する言語活動の充実
研究の視点 3 子どもの学びをつなぎ深める指導と評価の工夫

(2) 成果と課題 (○成果 ▲課題)

- 生活科・総合的な学習の時間、それぞれの研究授業を実施し授業研究会ができたことで、教科間の系統性や関連性を見ることができた。
- 総合的な学習の目的や授業の組み立て方、進め方などが協議の中で具体例が出てとても参考になった。他の学校の総合的な学習の時間の内容を知ることができた。
- ICTでの意見共有も効果的だが、付箋を広用紙に貼って意見を可視化する方法も児童同士の対話を生み、活動に意欲的だった。児童の実態に応じて学習ツールを選択すると
- ▲生活科も総合的な学習も、どの“学校でも使える”といったものがなく、難しいと感じた。積み重ねていく中で見えてくるものがあればと思う。
- ▲「生活科」と「総合的な学習の時間」とを繋いでいくことが難しい。生活科と総合的な学習の時間で、自己の成長に関する学習課題が設定されているため、どうステップアップさせて学習を積み重ねていくか明確にする必要がある。

4 実践事例

(1) 授業の概要

第2年 生活科「つながる 広がる わたしの生活」

授業者 中村 謙介 教諭 (益城町立広安西小学校)

① 研究の視点に沿った授業づくり

【研究視点1】「探究的な学習過程における豊かな体験活動の工夫」

- ・これまで校区探検や給食センター、町図書館、芋畑での栽培・収穫などの体験を通して、益城町の場所や関わった人を想像し、みんなに伝えたいことや伝える相手を意識する。
- ・将来やってみみたい職業について調査することで、未来への希望を持てるようにする。

【研究視点2】「気付きや考えを整理・分析・表現・交流する言語活動の充実」

- ・思考ツールやロイロノートの共有ノートを活用し、グループの意見を効率的にまとめる。
- ・付箋紙に探検で見つけた伝えたいことを書き、広用紙に貼る活動を通して、児童が発見したことを共有し整理する。

【研究視点3】「子どもの学びをつなぎ深める指導と評価の工夫」

- ・小単元の「まとめ」で感じたことや気付きを交流し、児童の学びを繋ぎ深める指導と評価を継続的に行うことで、児童が学習に主体的に取り組めるようにする。

② 授業研究会

○自評

- ・どこに行ったか、誰に伝えたいかを前時で考えた。児童からは様々な学年に伝えたいという意見が出た。
- ・学級の実態から、5時間目ということもあり、活動時にタスクを増やすことで子供たちが主体的に活動に取り組めるようにした。
- ・「伝えたいこと」と「思ったこと」が混同しており、明確ではなかった。児童への指示が不明確なところもあった。

○研究協議

- ・「すてき」の定義を児童と共有しておく必要があった。何を伝えると、相手が「すてきだ！」と思うのかを児童に問うてもよかったのではないか。
- ・町探検に行っていない地域も、自分の地域で知っていることを書いてもよかったのではないか。
- ・テーマ毎に分ける方法、生活班でテーマを決めてまとめる方法など、まとめる際のグループ作りも大切にす必要がある。

○指導助言

- ・事前アンケートから実態を把握することで、授業づくりにつながる。
- ・町探検については、学校の実態や地域差があるためそれぞれの町の特徴を教師が把握しておくことで授業づくりに生かされる。

(2) 学習構想案

① 単元構想

単元名	つながる 広がる わたしの生活 (あしたへジャンプ 新しい生活 下 東京書籍 p 8 1 ~ 8 9)		
単元の目標	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることよきや楽しさが分かるとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付け、進んで触れ合い交流しようとする態度を身に付ける。		
単元の評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることよきや楽しさに気づいている。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとしている。
単元終了時の児童の姿			
町探検や施設見学で発見したそれぞれのよさを伝え合う活動を通して、相手意識をもって伝える内容や方法を考え、身近な人々と交流することで、人と触れ合う良さや楽しさが分かる児童。			
単元を通した学習課題		本単元で働かせる見方・考え方	
ましき町のステキ〇〇をつくり、広安西小学校のみんなにつたえよう。		自分たちの地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像した伝え方や伝える内容を工夫すること。	
指導計画と評価計画 (1 2 時間取扱い 本時 2 / 1 2)			
過程	時間	学習活動	学びのツール (★意図や効果) 評価基準・評価方法等
一	2	①これまでの生活科の授業を振り返り、地域で関わった人のことや、自分の心に残った地域の出来事を思い出し、伝える相手を考える。 ②自分の心に残った地域の出来事について、友達と話し合い、学校みんなに伝えたいことを出し合う。(本時) ③自分が伝えたい益城町のステキを決めて、グループ分けをし、伝える方法を考える。	タブレット端末 (ロイロノート) ★思考ツールを使い、効率よく考えを整理する ○誰に伝えるかを考え、伝えたい内容を選んでいる。(思) ○相手や目的に応じて、様々な伝え方があることに気づいている。(知)
三	3	①もっとくわしく知りたいことを決め、調べる準備をする。 ②手紙や電話などの方法で、地域の人に質問やインタビューをして、必要な情報を集める。 ③地域の人に聞いたことをもとに、作品を作る準備をする。	タブレット端末 ★インターネットで情報を集めたり、写真を活用したりする。 ○多様な手段を用いてさらに情報を集めている。(思) ○自分たちの生活や地域の出来事を伝えたいという思いを持ち、進んで触れ合い交流しようとしている。(態)
二	4	①②それぞれ決めた表現方法で、作品を作る。 ③作品を友だちと見せ合い、より良い作品にするために意見を交流する。 ④より相手に伝わる作品にするために、作品を改良する。	タブレット端末 ★スライド作りや動画撮影に活用する。 ○相手や目的に応じて、伝え方を選んでいる。(思)
四	3	①②集めた情報やできたものを学校みんなに伝えたり、発信したりする。 ③学校みんなの反応を共有し、振り返りをする。	○自分の伝えたいことが相手に伝わるよきや楽しさが分かっている (知)

② 本時の学習

(1) 目標 町探検や施設見学での出来事を思い出しなが書き出し、共有する活動を通して、伝えたい内容を考えることができる。

(2) 展開

学習活動の流れ			
①前時に出し合った生活の心に残った出来事を振り返る。	②何を伝えたいかを付箋に書き出し、班で発表して黒板に貼りに行く。	③広用紙に貼ったものを共有する。	④本時をふりかえり、次時の活動を確かめる。
学習過程における主な発問			
①前回に思い出した生活のできごととはどんなことがありましたか。	②伝えたいことを付箋に書いて、班の人に発表して貼りに行きましょう。	③貼ったものを紹介してください。	④新しく気付いた益城町のステキはありましたか。
板書案			
<p>つながる広がるわたしの生活</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">め</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「ましき町のステキ」について、どんなことを伝えたいのか考えることができる </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">ま</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ましき町には、すてきなところがたくさんあることがわかった </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ましき町図書館</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">給食センター</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">いも畑</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">町たんけん</div> </div> <div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 10px; margin-top: 20px; text-align: center;"> 付箋に書いた伝えたい内容を広用紙に貼り出す。 ましき町図書館→ピンク 給食センター→青 いも畑→緑 町たんけん→黄 付箋を書く→班の人たちに発表→広用紙に貼りに行く→二枚目を書く </div>			
★本時の評価 (B 評価を記入) 相手意識を持って、伝えたい内容を考えている。(思)			

